

令和8年5月8日
原子力安全対策課
(08-09)
<9時記者発表>

美浜発電所3号機の原子炉手動停止について (高圧タービン周辺からの蒸気漏れ)

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

美浜発電所3号機（加圧水型軽水炉：定格電気出力82.6万kW）は、定格熱出力一定運転中の令和8年5月8日4時8分に「高圧車室上下部メタル温度差大（一側）」^{*}の警報が発信した。4時10分頃に中央制御室において、運転員がタービン建屋内に設置されている監視カメラにより、高圧タービン周辺から蒸気が漏れていることを確認した。このため、4時24分に原子炉を手動停止した。その後、4時43分に監視カメラにより蒸気漏れが停止していることを確認した。

今後、原因調査を行う予定である。

なお、本件は2次系からの蒸気漏れであり、環境への放射能の影響はない。

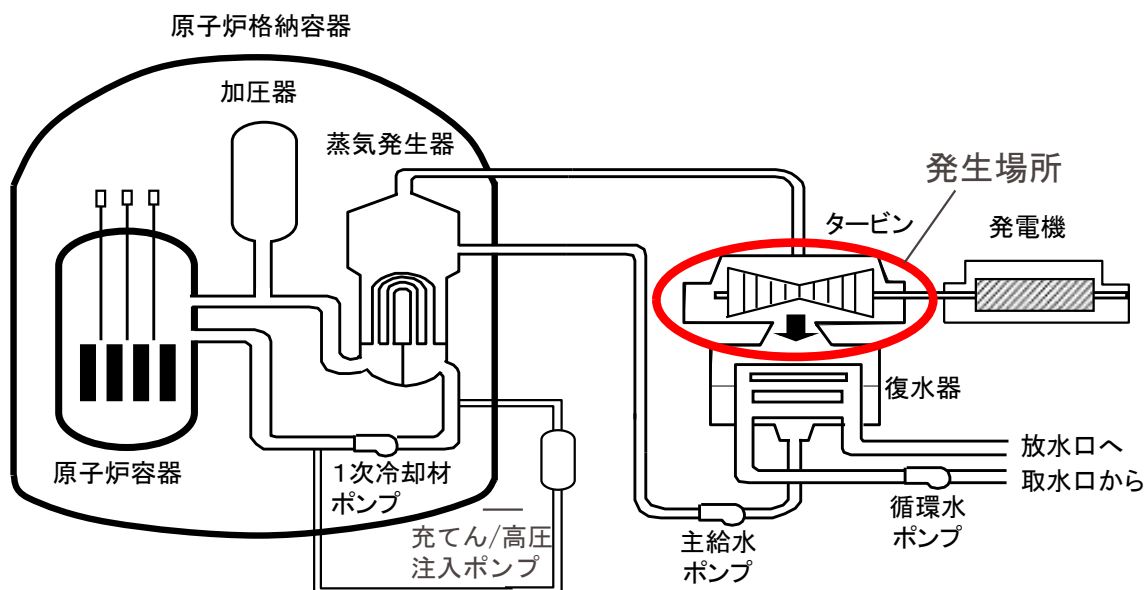
^{*} 高圧タービンを覆っているカバー（車室：上下2分割）の温度を測定しており、上部と下部の温度差が生じた場合に発信する警報。上部温度－下部温度で温度差を監視しており、一側（マイナス側）は下部に比べて上部の温度が低いことを示す。

問い合わせ先（担当：宇野）
内線 2354・直通 0776(20)0314

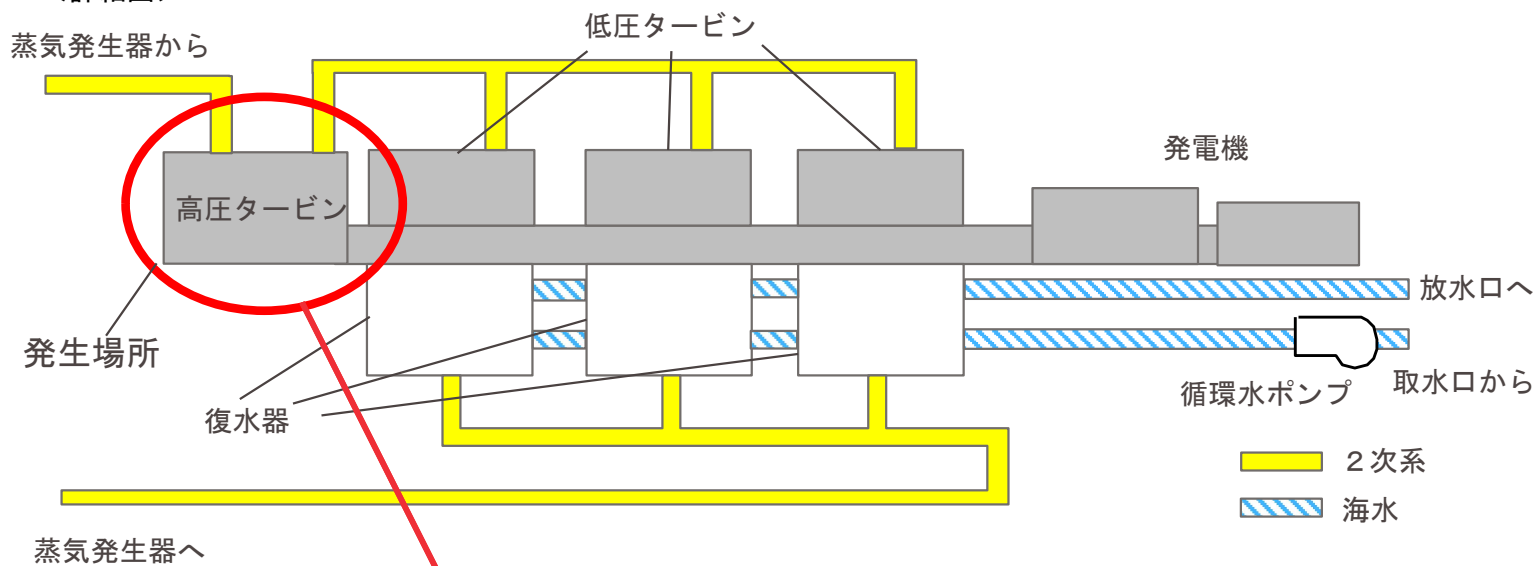
美浜発電所3号機の原子炉手動停止

事象概要

<系統図>



<詳細図>



<イメージ図>

